

# 平成23年度環境省情報セキュリティ報告書概要

## 1. CISOのメッセージ、平成23年度の総括・平成24年度の重点目標

(1)CISOのメッセージ		平成23年度の自己点検結果については、対象項目を絞り込み重点化したことから、必ずしも十分とはいえませんが、これらの項目については更に徹底を図ることとします。情報セキュリティに関する意識の浸透については、理解度が十分でなかった点についての向上や、積極的な教育機会への参加がみられ、底上げが図られてきているところです。
(2)当該年度の総括	平成23年度の実施 (概要)	情報の格付け等、情報の適切な取り扱いの徹底 教育内容の充実・重点化 情報セキュリティ対策のマニュアルの見直し 情報セキュリティ対策に資するシステムの整備強化
	平成23年度の実施 (結果)	情報の格付け等の取り扱いについて引き続き改善の余地がある。システムの整備強化については、情報の外部への持ち出しや提供を安全に行うためのシステムの活用が進められた。
	平成24年度の重点 目標(概要)	引き続き、情報の格付けの明示や情報の移送、提供に関する手続きの徹底について、指導・教育をさらに進めるとともに、格付けの明示漏れ防止や安全な情報の移送、提供方法についての仕組みの検討をさらに進める。

## 2. 情報セキュリティ対策の実施状況

(1)自府省庁の課題 (自己点検結果、情報システム・重点検査、教育・啓発、調達・外部委託等)	情報の格付け、取扱い等についての認識度は向上しているが、実際の格付けの明示等について十分な徹底が図られていない状況が見られた。また、情報の移送、提供の際の手続きや安全対策が不十分な事例も見られた。
(2)(1)で記述した課題に対する対策状況・改善に向けた指示	従来より実施している教育について、より具体的な事例を踏まえた効果的な教育の充実を検討することで、ルール徹底をさらに進めることに加え、対策漏れを低減させる利用環境の整備として安全対策を考慮したWebメールや仮想環境によるリモート接続等の検討を進める。

### 3. 情報セキュリティに関する障害・事故等

障害・事故の概要、原因分析	府省庁の対応	再発防止策
—	—	—
—	—	—
—	—	—

### 4. 具体的な情報セキュリティ対策の実施内容等 情報セキュリティ報告書全体から特に注力した取組を選択

実施概要(テーマ)	内容(取組の起点・背景、実施目的、具体的な工夫、費用、アピールポイント等)	効果(定量評価、できたこと・できなかったこと、期待される効果等)
セキュアUSB導入	暗号化、PW、ウイルスチェック、集中制御可能なセキュアUSBを導入し、活用を推進。私物や従来からの暗号化機能のないUSBデバイスの利用の禁止を徹底。	ウイルスに感染するリスクが低減し、さらに紛失・盗難時の情報漏洩防止の効果が期待できる。また省内の関係部署の協力により、ファイルの受け取りが発生する際にセキュアUSBの利用を義務化することで各課室への浸透が進んだ。
オンラインストレージシステム構築	大容量ファイルを暗号化、期限付き、PW付きで安全に授受できる仕組みを導入。要機密情報は移送手続も同時に自動的に実施され、平易に利用可能。	外部ストレージの利用の禁止を徹底するとともに、利用申請時に移送、提供手続きに必要な事項を含めての申請としたことから、必要な手続きの徹底も図られた。